

九州正教会だより

第42号



(人吉・鹿児島・熊本・福岡)

2023年3月1日発行

発行人：司祭グリゴリイ水野 宏

〒868-0081 熊本県人吉市上林町979-5 人吉司祭館

TEL / FAX 0966-24-7861

mail ocj.kyushu@gmail.com

ウェブサイト <https://www.ocj-kyushu.com/>



我が兄弟を議せざるを賜え

司祭グリゴリイ 水野 宏

主、^わ ^{いのち} ^{しゅさい} ^{おこたり} ^{もだえ} ^{しのぎ} ^{むだごと} ^{こころ} ^{あた} ^{なか}
吾が生命の主宰よ、怠惰と愁悶と凌駕と空談の情を我に與うる勿れ。

^{みさお} ^{へりくだり} ^{こらえ} ^{こころ} ^{われなんじ} ^{あた}
貞操と謙遜と忍耐と愛の情を我爾の僕に與へ給え。

^あ ^あ ^{けいてい} ^{けだしなんじ} ^{あが} ^ほ
嗚呼主王よ、我に我が罪を見、我が兄弟を議せざるを賜え、蓋爾は世に崇め讃めらる。

上に引用したのは大齋期間の平日の祈禱の中で唱えられる「シリアの聖エフレムの祝文」です（上のイコンは聖エフレム）。この祈りの中で最も重要な文言は「我が兄弟を議せざるを賜え」（私に他人を批判させないようにしてください）でしょう。なぜなら、他人を批判するとは「自分は正しい。悪いのは相手」という前提が自分の中にあるからですが、これは時として自分に都合の良い勝手な思い込みとなり、その結果、他人への攻撃や侮辱によってかえって自分自身を罪に陥らせてしまうからです。しかも困ったことに、そういう人は自分が正しいと思っているので、他人を傷つけても反省することがありません。

最近、若者が飲食店などで非常識な行為をするという問題が起きています。これは社会問題とはいえ、その責任はやった本人が相手に対して、法の裁きに基づいて取れば良いはずですが。しかし実際は、全く関係ない多くの第三者がネットで犯人の個人情報を広めたり、苦情や嫌がらせの電話をかけたりしています。つまり、自分が正義だという前提で、嬉々として他人をいじめることが社会では横行しているのです。その方がよほど問題です。

「自分は正しい」と思い込んでいる人よりも、むしろ素直に「自分が悪かった」と自覚できる人の方が正しいということを理解して、この大齋で自分自身を見つめ直しましょう。